

令和7年度 事務事業評価シート（１）

〔 令和6年度事務事業 〕

一般会計					事務事業分類	A 一般事務事業	
事務事業名	産後ケア事業				事業番号	014-142	
担当部署名	子ども青少年	局	子ども青少年育成	部	子ども育成		課

I. 基本情報

事業の位置付け

1	堺市基本計画2025	施策との関連	有・無	戦略	3.将来に希望が持てる子育て・教育 ～Children's future～	施策	(1) 妊娠から学齢期まで切れ目のない子育て支援の充実	
			有	取組の方向性	①妊娠・出産期から乳幼児期までの子どもと家庭への支援			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
	堺市SDGs未来都市計画		無	現状値	—	目標値	—	
		施策との関連	有・無	ゴール	ゴール(3)すべての人に健康と福祉を	ターゲット	3.2	
			有	取組	妊娠期からの保健指導と乳幼児健診の実施			
		寄与するKPI	有・無	指標名	—			
			無	現状値	—	目標値	—	

2	関連計画	堺市こども計画		
3	事業開始年度	平成 28 年度	点検対象年度	令和 7 年度
4	実施根拠	母子保健法		

事業の概要

5	事業の実施主体	子ども育成課					
6	事業の対象	産婦と乳児				対象数	単位
						約5,000	組
7	事業の目的	出産後の心身ともに不安定な時期にあつて支援が必要な母子を対象に、心身のケア及び育児のサポートを行うことにより、家庭で自立し、安心して子育てができるよう支援する。					
8	事業内容	「宿泊型・デイ型」 対象者を実施施設に宿泊又は日帰りで滞在させ、当該対象者に対し、次の指導等を実施する。 宿泊又は日帰りそれぞれ7日を限度とする。 ・産後の母の心身のケア及び保健指導 ・乳房管理及び授乳の指導 ・乳児の発育及び発達並びに健康状態の確認 ・沐浴及び育児の指導 ・在宅での子育てに関する相談及び指導 ・家族計画に関する指導 「訪問型」 助産師による指導を希望する対象者に対し、助産師が訪問して指導を行う。 訪問は3回を限度とする。					
	※国・府の基準より上回って実施した内容						
9	主な支出先	医療機関、助産所					
10	公民連携・協働事業						

II. 事業目的の達成状況

事業の成果や活動実績の測定

11	成果指標	単位		実績		目標	目標 点検対象年度
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和7年度
	延利用者数	組	目標値	1,000	2,800	4,100	4,100
			実績値	973	1,605		
			達成率	97%	57%		
	当該指標を選定した理由	産後ケアが必要な母子が利用できる状況をめざすため					
	目標値の設定根拠・算出方法	育児不安があり専門職からの助言やケアを求め助産師訪問を希望する人数から算出					
12	活動指標	単位		実績		目標	
				令和5年度	令和6年度	令和7年度	
	産後ケア事業を知っている妊婦の割合	%	目標値	—	—	70	
			実績値	—	—		
			達成率	—	—		
	当該指標を選定した理由	事業の認知度の向上が出産や子育てへの安心の向上に寄与するため					
	目標値の設定根拠・算出方法	堺市こども計画 子育て支援事業について知っていると答えた保護者の割合					

令和7年度 事務事業評価シート（2）

事務事業名	産後ケア事業	事業番号	014-142
-------	--------	------	---------

Ⅲ. 投入量

事業コスト

※当初予算には、前年度からの繰越分を含む。（単位：千円）

	項 目	令和4年度	令和5年度	令和6年度		令和7年度
		決算	決算	当初予算	決算	当初予算
13	事業費（a）	0	0	57,164	33,938	82,458
	国支出金	0	0	28,582	16,969	40,909
	府支出金	0	0	0		20,454
	市債	0	0	0		0
	その他（ ）	0	0	0		0
	受益者負担金(使用料、手数料等)	0	0	0		0
	一般財源	0	0	28,582	16,969	21,095
14	人件費（b）	0	0	3,215	3,215	4,220
15	年間経費（c）=(a)+(b)	0	0	60,379	37,153	86,678

事業費の内訳

（単位：千円）

	項 目	年度		事業費	うち 一般財源	項 目	年度		事業費	うち 一般財源
		R6	決算				R6	決算		
16	需用費	R7	予算	64	32		R7	予算		
		R7	予算	204	51		R7	予算		
	役務費	R6	決算	171	85		R6	決算		
		R7	予算	435	108		R7	予算		
	産後ケア運営委託	R6	決算	33,703	16,852		R6	決算		
		R7	予算	81,819	20,936		R7	予算		
		R6	決算				R6	決算		
		R7	予算				R7	予算		
		R6	決算				R6	決算		
		R7	予算				R7	予算		

Ⅳ. 事業の効率性

単位当たり経費

	区 分	単位	令和5年度	令和6年度
17	① 延べ利用者数	人	973	1,605
	② 上記①にかかる年間経費	千円	—	37,153
	③ 単位当たり経費（②÷①×1,000円）	円/単位	—	23,148
	算出についての説明等			

Ⅴ. 評価

費用対効果に係る所見

18	令和6年10月からの訪問型の追加等により、延べ利用者数が増加している。利用者アンケートによる満足度が高く、退院直後の母子に対して心身のケアや育児のサポート等を適切に行うなど効果的に事業を実施できている。
----	---

KPI等への寄与（基本計画等のKPI・取組の方向性や事業の目的の達成にどのように寄与したか）

19	母親の育児不安やうつ状態がこどもの虐待の誘因になることが指摘されており、産後の育児を家庭のみに任せるのではなく、生活している地域で様々な支援を行うことが重要である。 産後ケア事業は、出産後の心身ともに不安定な時期にあつて、支援が必要な母子を対象に心身のケアを行い、家庭で自立し、安心して子育てができる環境整備に寄与している。
----	---